

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

(脳神経外科外来・病棟)

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2000年4月1日～2021年12月31日の期間に、放射線治療後に発生した脳腫瘍に対する治療を当院で受けた患者さん			
② 研究課題名	放射線誘発脳腫瘍に関する疫学研究			
③ 実施予定期間	2022年6月～2027年3月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	堀江 信貴	所属	広島大学大学院 医系科学研究科 脳神経外科学
⑥ 当院の研究責任者	氏名	大庭 信二	所属	呉医療センター 脳神経外科
⑦ 使用する試料	<p>収集する診療情報は下記の通りです。 IDH-R132H 蛋白、p53 蛋白、ATRX 蛋白、H3.3 K27M 蛋白、H3.3G34R 蛋白、H3.3 K27me3 蛋白、EZH2 蛋白、MTAP 蛋白、p16 蛋白の発現です。カルテから使用する内容は年齢、性別、治療前後のCT/MRI画像から得られるパラメータ、放射線照射時年齢、放射線誘発腫瘍発症年齢、病理診断、原疾患、腫瘍部位、化学療法内容、放射線治療内容、生存期間、無増悪生存期間、治療関連有害事象 また、手術摘出済みの病理標本を病理学的に追加検討します。</p> <p>※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は研究代表者によって保管されます。 ※当院の研究者、研究代表者、研究事務局などが収集した情報を取り扱います。</p>			
⑧ 目的	放射線治療は、脳腫瘍や脳血管奇形など中枢神経系の疾患の治療において重要な役割を担っています。まれに放射線治療後に、二次性の脳腫瘍が発生することが知られていますが、その特徴や適切な治療法についてはまだ解明されていません。今回、放射線誘発脳腫瘍特徴を明らかにすることで、リスク因子の解明や適切な治療法を確立にするため、この研究を計画しました。			
⑨ 方法	上記①の対象となる患者さんの、⑦に記載している診療情報および治療において摘出された腫瘍の残余検体を広島大学の研究代表者(広島大学大学院脳神経外科・教授 堀江信貴)に送り、広島大学病院の患者さんの試料・情報と一緒にデータの解析が行われます。放射線誘発脳腫瘍が発生するまでの時間を統計学的に解析したり、無増悪生存期間や全生存期間を比較解析したり、腫瘍の蛋白発現の解析を行います。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022年6月13日		
	院長承認日	2022年6月13日		
⑪公表	個人情報保護のうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	大庭 信二	電話	0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター 脳神経外科			

呉医療センター院長